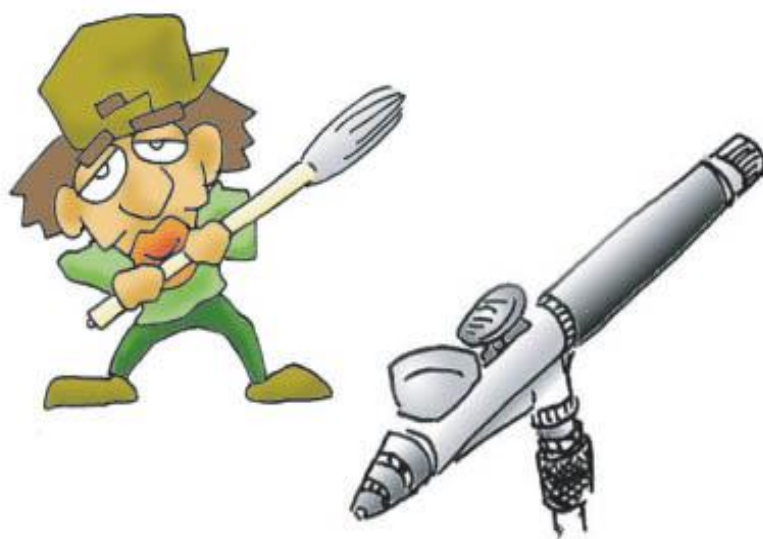


TOTAL-Tが教える

HOW TO AIR BRUSH

AIR BRUSHをはじめよう! -2003- VOL.04



AIR BRUSH は
魔法の筆!!

はじめに・・・

夢の“AIRBRUSHのHOW TO本” VOL.04

※ ビデオ CD  “ごあいさつ” を参照下さい。

TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.01 は去年の暮に発行され、Vol.02 が1月の末に発行、今回は2月末に発行のVol.03（第3号）、今回は3月末の発行のVol.04（第4号）です。

おかげさまで日本全国の各地からこの本の購読申込があり、現在、3月末の時点で予約の部数を合わせれば1200部を超えました！

自分でもびっくりするような好評ぶりで大変うれしく思っております。

また、皆さんの期待にそえられるようにと、日々努力している状態なのですが、毎月100部を超える本の作成とビデオCDの作成、新規や追加購読申込の対応、道具の発送、質問メールの対応、その他、従来の仕事等も重なり、いっぱいいっぱい状態なのが正直な現状です。

でも、この本の仕事が今一番のやりがいある仕事！夢が膨らむ仕事！となっています。

これからも皆さんの力をお借りしながら自分なりに努力していこうと思っています。

今回も伝えたいこと教えたいことが盛りだくさんの号となっています。

皆さんといつものように一緒に楽しみながら進んでいきましょう！

TOTAL-T 竹島 敏也

Toshi



挿絵 Shigeru Yamamoto

もくじ

はじめに・・・	1
もくじ	2
まずはいっぶく・・・	3
第1章　ひと言のコーナー	4
「AIRBRUSH は魔法の筆！！」	4
第2章　著作権について・・・	5
著作権とは？	5
第3章　読者からの質問コーナー	8
読者からこんなメールが届きました。	8
第4章　実践のコーナー	9
きれいなグラデーションに・・・	9
第5章　お勉強のコーナー	10
日々研究することが大切！	10
AIRBRUSH 専用といった塗料は存在しないと考えたほうが良い！	10
そんなこと言われても私は素人・・・	10
おおまかな塗料の使い分け	10
ちょっといっぶく・・・	11
第6章　考えてみよう！	14
第7章　知ってもソンしないコラム	15
AIRBRUSH SCHOOL・・・	15
弟子の独り言・・・	16
この本と共に勉強していきたい方のための道具選び	17
ビデオ CD とオマケについて・・・	18
編集後記	19

まずはいっぷく…

タバコを吸うなり、好きな飲み物を飲むなり、すてきな音楽でも聴きながら、
いつものようにまずはいっぷくです。



もう、このページを飽きてしまった方もいらっしゃるのでは？
ですが、このコーナーはこの本には必要不可欠なのです。あせる気持ちは分かります。
しかし、その気持ちをいったん抑え、冷静になって読みはじめてください。
今、くだらないと思っている方！いっぷくを軽視してはいけません！
たいしたことないことならば、わざわざコーナーまで作りません！
いっぷくは AIRBRUSH いや、すべてにおいての大事な“基本”なのです。
この本の隠されたコンセプト・・・そう前回でも言いましたよね。
ひとつひとつ確実に進めていき最終的には花を飾る。
花を飾るのは私ではありません、あなたなのです。
どんなに重要なことを書いても頭の中に入っていないければ意味がありません。
そう、この本を読んでもあなたのやる気がなければ花は咲きません。
そのやる気も時にはあせりにつながります。
前回言った、この本の隠れたコンセプト・・・と聞いてピンとこなかった方や思い出せなかった方、
落ち着いて下さい！
この本があなたの血となり肉とならなければ、作っているかいがないのです。

さて、皆さんはどのくらいまで AIRBRUSH を理解できましたか？
やりたくても道具が購入できず歯を食いしばって読まれている方、この本を片時も離さず練習している方、指が痛くなるまで絵を描いている方、様々だと思います。
どんな方でも、さあ、まずはいっぷくです。

第1章 ひと言のコーナー

「AIRBRUSHは魔法の筆！！」

※ ビデオ CD  “一言のコーナー” を参照下さい。

「AIRBRUSH は魔法の筆！」と言うと・・・
なんで？どうして？と思われる方がほとんどだと思います。

今回はこのことを皆さんにわかってもらいたくて、
表紙に出したりして、少し強調させてもらっている
次第です。

普通、絵を描くとするなら・・・

鉛筆、ボールペン、マジック、筆（刷毛）等を用い
ると思いますが、それぞれに特徴、長点や欠点があり
ます。

それが AIRBRUSH で絵を描くとなれば、線の太さ
も色の濃さも自由自在！言わば万能の筆！ってこと
なんです。

AIRBRUSH は、きれいにぼかすことが出来るのが
大きな特徴であり長点です。

欠点をあげるとすれば、しょせんスプレーなのでシ
ャープに描こうとすると難しくなるということでは
ょうか？しかしマスキング等を使用することによっ
て容易に解決することが出来ます。

ついでにもうひとつ、欠点と言うなら、自在に操作できる人が非常に少ないということです。

そのことを逆手にとってプラス思考で考えていきましょう！

魔法を使っているかのように絵が描ける“万能の筆” AIRBRUSH を自在に操ることが出来れば、夢の
ような楽しい世界が広がって来る！と私は考えているのです。

“魔法のほうき”を自由自在に操るまではたいへんだが、それが出来れば立派な魔女になれる！

“魔法の筆” AIRBRUSH を自由自在に操るまではたいへんだが、それが出来れば立派な AIRBRUSH
PAINTER & AIRBRUSH ARTIST になれる！ってことなのです。



第2章 著作権について…

著作権とは？

※ ビデオ CD  “豆知識のコーナー” を参照下さい。

**著作権とは作品（著作物）を作った人が持っている権利のことです。
著作権の他に肖像権というのもあります。
他にもいろいろあります。**

私がここで間違えたことを伝えてしまうと、大変なことにもなりかねないと思うので、詳しく説明することは控えさせていただきますが、著作権や肖像権などに関して知識を持つということは AIRBRUSH をやるにあたって大切なことだと思っているので、今のうちに少しでも触れさせていただきます。

今の世の中、ある程度の知識やマナー、常識を持っていなければ生きてはいけないと思います。著作権や肖像権のことに関してプロフェッショナルな知識は必要ないと思いますが、最低限のルールやマナーをこの機会に勉強してみてもいいと思います。

インターネットの検索サイトで「著作権」とか「肖像権」とかで検索してみてください！

いくつか出てきたと思いますが、社団法人 著作権情報センター等、それぞれを詳しく見てみるといいと思います。

次に、数年前、ワイドショーでこんなことについて話題になっていたことがありました。

その話の内容は・・・

あまり売れていない俳優が、友達でもある有名タレントに彼女の絵をプレゼントに贈った……。自分の彼女が描かれている絵をもらった有名タレントは、その絵に自分のサインを加えて、あたかも自分が描いたようにしてその絵を彼女にプレゼントした……。

この話が事実だとすれば皆さんはどう思いますか？

いけないことだと思いませんか？

俳優としてあまり売れていなかったその俳優は、その話題のおかげで売れるようになり、絵描きとしても売れるようになったことも考えれば、結果オーライだったのかもしれませんが、人の作品ということを見做して、自分の作品にしてしまうというのは残酷な話だし、やってはいけないことだと思います。

次ページにつづく

著作権とは作品（著作物）を作った人が持っている権利。

その作者の権利を侵害するようなことがあってはいけません。

利益が目的となると、問題になりやすく、個人的な趣味の範囲なら許されても、営利目的等で他人の作品を使用したりする場合は許可が必要になってきます。

AIRBRUSH で絵（作品）を描くということを考えてみましょう！

自分自身で想像して描く絵には何の問題もないと思います。

売れるか売れないかは別として、高い値段をつけて売っても問題なしだと思います。

芸能人等の絵を描いた場合はどうでしょうか？たぶん、その絵は、本やポスターの写真を真似て描いたもの・・・その写真を撮ったカメラマンの権利やその本やポスターを作っている会社の権利、芸能人の権利などが浮かび上がってきます。



その絵を個人的なもので楽しむのならともかく、販売して儲けるようなことがあるとするなら、許可をとらなくてはなりません。

私がいつも思っていることなのですが、許可をとるということの以前に、作者やそれに関わる会社や人物を侵害するようなことがあってはいけません！したくない！と思っています。許可をとるにあたって、簡単に許可がとれる場合もあれば、たやすくなく、苦労や時間を要することもよくあります。

許可をとることに力を注ぐのも良いと思いますが、それよりも侵害しないようにすることが重要なこと、大切なこと、と私は考えています。

その作者や芸能人等の気持ちになってみれば、そのことが侵害していることなのかどうか、自ずとわかってくるのではないのでしょうか？

次ページにつづく

絵の練習のために模写をしたりすることは悪いことではないと思います。

しかし、作者やその関係者に侵害を加えるようなことをして絵を描いたとしても、それは悪いことであって、なんの得にもならないことだと思います。

得することがあったとしても、他力に頼っているということにしかすぎません。

有名人の写真を元絵として絵を描くことは AIRBRUSH の世界でよく見かけますし、私もよくそのようなことをしたりします。

大ファンの為に描いてあげることはあっても、私はその有名人を描いて高く売るというような行為は絶対にしません。

又、作品には必ず作者がいるので、その作者を侵害するようなことはあってはいけません。

また個人を傷つけるようなことや、迷惑をかけるようなことがあってもいけません。

他人を苦しめることや、迷惑をかけるようなことはせずに、自分自身の力で AIRBRUSH ART を展開して行ってこそ本物！世に貢献して行ってこそ本物！と考えています。

私は今まで自分のオリジナル作品といったものが少なく、何かを参考にしながらの模写がほとんどでした。

しかし、これからは自分の完全オリジナル作品で皆さんに喜ばれていきたい・・・そうするにはどうすれば？どんな絵をかけば？などいろいろな考えているところです。

数年前にラッセンの原画を見にいったことがありました。

ほとんどの原画を見ることが出来たのですが、その時感じたこと、思ったことは、「俺にも可能性はある！」でした。（笑わないで下さい、本当のことなんで・・・）

なぜそう思ったかは、ここでお話しませんが、皆さんも AIRBRUSH に関わっていくうちに、そう感じるようになっていきます。

すでに「自分はそう思っている！」という方もいると思いますが・・・。

私は AIRBRUSHのおかげで絵というものに関心、興味が出てまいりました。

「絵って、こんななんだー・・・」とか「絵って、こんなに楽しいんだー・・・」とか。

AIR BRUSH を始めたころは、どうして絵が存在するのかもわからず、なにも考えずに、なんとなく AIRBRUSH で絵を描いていたのですが、最近はその訳がなんとなくわかってきたような気持ちで絵を描くようになってきました。

これが“絵心”ってものなのでしょうか？

30才を過ぎて芽生えた絵心・・・

この自分に芽生えた絵心を少しずつ暖めていきたいと思っています。

著作権の話からこんな話になってしまいましたが、とにかく AIRBRUSH を通して、皆さんと一緒に楽しみながら、絵というものに関わっていきたいと思っています。

第3章 読者からの質問コーナー

読者からこんなメールが届きました。

※ ビデオ CD “読者からの質問コーナー  その1  その2” を参照下さい。

「スーッとはいってスーと終わるがうまく出来ない！」

当方からハンドピースを購入して頂いた方へ動画 CD をサービスしているのですが、それを見て、実際にやってみただけどうまいかなかった為に

「スーッとはいってスーと終わるがうまく出来ない！」と言ってきたのだと思います。今回はそのサービス CD の動画（一部）を公開致しますので、まずはそれ（その1）をご覧になって下さい。

・・・ご覧になりましたか？

ご覧になった方はスーッとはいってスーと終わるという意味がわかったことと思います。

次に  その2 を見て下されば、もっと納得頂けるのではないのでしょうか？



第4章 実践のコーナー

きれいなグラデーションに・・・

※  ビデオ CD “実践のコーナー” を参照下さい。

AIRBRUSH を使ってきれいなグラデーションをかけるにはどうすればいいのでしょうか・・・
もともと AIRBRUSH はきれいなグラデーションをかけることを得意とするものなのですが、やり方を工夫することによって、グラデーションを更にきれいにみせることが出来ると思います。

AIR の方向を考える！

ポイントのひとつとして、考えられるのが AIR の方向です。
ガンの先から出ている AIR の方向をよく考えてやることで、きれいなグラデーションにすることが出来ると思います。
グラデーションをかけたい方向へ AIR を流すようにして吹きつけしてみましょう！
どうでしょうか？
よくわからない場合は、逆方向でもやってみるといいです。
反対のことを実際にしてみることによって、その差を理解することが出来るので、このことに関わらず、その時々で実験をしてみるのが私流です。
皆さんも、常に研究心をもって実験をしていきましょう！

中間色を使う！

もうひとつのポイントは中間色を活用することです。
黒から白にグラデーションをかけたい場合、黒だけの淡色でやることもありますが、その他の方法として、中間色のグレー（黒と白の混合色）を使うということもあるということです。
色が段階的に変わっていくことがグラデーションですが、上の色と下の色との濃淡具合で段階的に変えていく方法もあれば、色そのものを段階的に変えていく方法もあると考えるのです。
色のずらしという言葉で説明することが、私はよくあるのですが、人物画を描いたりする場合は特にその色のずらしがうまくいってないときれいに見えません。
元の色にほんの一滴でも他の色が入ってくれば、色はずれていくということです。
単色の濃淡具合だけでのグラデーションをかけていくよりも、中間色を使い、色そのものにずらしをかけていくということをしていけば、よりきれいなグラデーションになるのではないか？という考えです。
皆さん、おわかり頂けたでしょうか？

第5章 お勉強のコーナー

※ ビデオ CD  “お勉強のコーナー” を参照下さい。

日々研究することが大切！

日々研究することで、毎回新たな発見や進歩があります。

うちの AIRBRUSH 教室の中でも“研究心”を忘れないで！と最後に言うのも私の口癖となっています。

研究することはそれだけ重要なことだと思うのです。

もし私がマニュアル形式で教えるということをするれば、奥深いものでもなくなり、教え方も簡単になるのですが、私が皆さんに伝えたいこと、求めていることはそうではないのです！

人それぞれに様々なやり方があるから、個性的な作品が生まれてくるのであって、みんな同じやり方をしていたら、すべて同じような作品になってしまい、個性もなく、おもしろくありません。

AIRBRUSH 専用といった塗料は存在しないと考えたほうが良い！

色（塗料）に関しても、使用するものによって、色合いや出来がずいぶんと変わってくると思うので、皆さんも日々研究してってもらって素敵な作品作りをしてほしい・・・という私からの願いや要望があるのです。これが絶対に良い！満足！という考えを持たずに、これよりもっと良いものがないかと日々研究すること、探すことを皆さんにもしてほしいということです。

専用塗料があったとしても、扱いやすいようにされたものと考えるようにするといいです。

「自分の求める色はこんな色！」と自身を持って言えるくらいになってほしいと思っています。

そんなこと言われても私は素人・・・

そんなことを言われても私は素人だから・・・と思われる方も少なくないと思います。

私も素人から始まりました。

心配無用！私がサポートしていきますのでご安心下さい！

おおまかな塗料の使い分け

私が AIRBRUSH を実際にやるにあたってのおおまかな塗料の使い分けを説明していきますので、それを参考にしながら、少しずつ自分なりの塗料、自分に合った塗料というものを見つけていきましょう！

次ページにつづく

ちょっといっぶく…

こちらでちょっといっぶくいたしましょう！

私は気分が乗らないと仕事はかどりません。

気分が乗らない時や、眠い時には、素直にいっぶくしたり、寝たりしてから仕事を進めるようにしています。

会社勤めの方は、そんなわけにはいかないと思いますが、やる気のある時に精一杯がんばって、やる気のない時は、やる気が出てくるまでいっぶくしたほうが、効率が良くなると私は思います。

とにかく、気持ちに乗らないとうまく進まない！いっぶくも非常に大切なこと！ということをごここで言いたかったわけです。ハイ！



いっぶくしている間に、挿絵をいつも描いてくれている山本氏の話でもいたしましょうか！

この本の挿絵について皆さんはどう感じていますか？

私にとっては必要不可欠なものとなっております。

もし、山本氏の挿絵がなかったとしたら、非常に寂しい本になってしまうと思いませんか？

文字だけの羅列だったとしたら、あなたは読む気が起きるでしょうか？ この絵があるのとないのとではどちらが良いですか？

マンガを読むように楽しく読んでいって下さい！と本を出す時に言った以上、そのようにしなくてはいけなくなり、以前うちに習いに来てくれた山本氏にお願いしてみたところ、快く受けてくれたという経過があります。

私は山本氏の絵が大好きです！ なんてたって私を描いてくれているのですから・・・。

私と彼と一緒に過ごした日々はほんの数日間。

瞬間的に私の特徴をしっかり捉えて、速効で面白おかしく絵にする彼の特技というか才能は、私が AIRBRUSH を使って描くという技術を優に超える、すばらしいものだと思っています。

そのうち皆さんも、彼の才能に気づくと同時に彼の絵にはまっていくことと思います！（笑）

いっぶくが終わったら次のページに進んで再開いたしましょう！

TOTAL-T 流 おおまかな塗料の使い分け・・・

① まずはベース(下地)作り。

ベースの塗料は、2液式(硬化剤と混合するタイプ)を使うようにしています。

なぜ2液式なのかというと・・・

2液式の塗料は、強靱で密着性にも優れているという、私なりの経験で得た感触があります。

また、肉持ち感がある程度あって、痩せないという特徴もあるので、下地の傷を消す(埋める)といったことも同時にやってしまうわけです。

※ 極端な傷や凹みがある場合はパテやサフェーサー等を使用します。

② 次に絵を描きこむ。

絵を描く時の塗料は、1液式(硬化剤を入れなくてもよいタイプ)を使うようにしています。

なぜ1液式なのかというと・・・

もしも2液式を使用した場合は、硬化剤を入れた時点から硬化反応が進んでいき、どんどん固まっていくといったふうになり、塗料の出具合も硬化が進むにつれ徐々に悪くなっていきます。

塗料の出具合が変化するという事は、絵が描きにくいということにつながっていきます。

微妙な変化によって影響が出てきてしまうわけです。

1液式の塗料の場合はシンナーの揮発によって濃度が少し変化する程度で、固まったとしてもシンナーで戻すことが可能です。

精密、繊細に作られているハンドピースの中で塗料が固まったりすれば、当然、洗浄掃除も大変となるので、ハンドピース使用時は、なるべく洗浄掃除がしやすい塗料を使用します。

また、ノズル口径が非常に小さいハンドピースに塗料が通るということは、それだけ使う塗料も繊細でなければいけません。

また、なるべく顔料の粒子が細かい塗料を使用することも大切です。

色としては、原色に近い青・赤・黄・黒・白の5色。

この5色で色を合わせて目的の色を作っていけば、たくさん色数を持つ必要がなく、経済的ということにもなります。



② 最後にクリアーコートをかける。

クリアーコートの塗料は、2液式(硬化剤と混合するタイプ)を使うようにしています。

なぜ2液式なのかというと・・・

ハンドピースで描かれた画面は超繊細な塗料の粒が上についているわけなので、ちょっと触っただけでも傷がつきやすく、せっかくきれいに描いた絵が台無しになるという可能性も高いということです。

最後にクリアーコートすることで、薄く描かれた塗膜を保護し、艶をあげ、高級感を出すことができます。

ここで使用するクリアー塗料は2液式。

2液式クリアーを使用することで、強靱な塗膜で保護が出来るということになります。

完全硬化すると溶剤等にも犯されにくくなり、硬度(硬さ)も高ければ高いほど傷がつきにくくなります。

自動車塗装用のクリアーはきれいな色が長期間保たれるように、UV対策という点も考えられています。

UV対策されているということは・・・

＝紫外線等に強い！＝色あせしにくい！＝いつまでもきれい！ということです。

また、磨きをかけて鏡面状態にして艶をあげることで、ピカピカできれい！高級！というふうにもなります。

ピカピカということは・・・

＝傷がない！＝汚れが傷の中に溜まらない！＝汚れにくい！ ということです。



※ 私がここで説明している塗料は、自動車用の塗装に使用される1液式や2液式塗料のことを示しています。

第6章 考えてみよう！

塗料の一粒一粒のことを考えてみましょう！

※ ビデオ CD  “考えてみよう” を参照下さい。

私は塗料の一粒一粒のことを考えるようになった時から塗装が上手くなったような気がします。
細かいことにも、こだわって考えてみるのが、上達への近道なのかもしれません・・・。



ここではシンナーのことについても同時に説明致します。

シンナーの特徴は、溶解力があることや、揮発力があるということです。

溶解力・・・弱いものから強いものまで様々です

揮発力・・・揮発の速いものから遅いものまで様々です。

その特徴をうまく活かすことで、作業効率を高め、仕上がりを良くすることが可能となります。

これは言葉で説明するよりも、実践で勉強していったほうが良いと思うので、今回はおおまかな話だけにしておきます。

溶解力を考える・・・

弱い溶解力のシンナーで希釈された塗料で塗装された塗面の上に、強い溶解力のシンナーで希釈された塗料を塗装すると、下の塗装が犯されてしまいます。

ですから、基本的には上の塗装になってくほど、溶解力の弱いシンナーを使用したほうがベターです。

しかし、時にはシンナーの溶解力をうまく活かし、下の塗装面又は下地の素材に食いつかせるようにして塗装するというのも塗装テクニックのひとつだと私は考えています。

一般的に、塗料シンナーと呼ばれているものの溶解力は比較的弱く、ラッカーシンナーと呼ばれているものの溶解力は比較的強いのですが、これも種類様々、値段も様々です。

揮発力を考える・・・

暖かく乾燥が速い季節（夏）には揮発の速度を控えたスローシンナー（夏用シンナー）を使用し、寒くて乾燥が遅くなりがちな季節（冬）には揮発の速度を高めたクイックシンナー（冬用シンナー）を使用するのが一般的です。

これも、そのことをよく理解していれば、ケースバイケースでその場に合った対応が出来ます。

メーカーによってシンナーの揮発具合の表し方は様々で、言葉で表したり、番号で表したり、区分けや種類も様々です。

また、シンナーが揮発するということは、蒸発してなくなってしまうということです。

塗料の中にあったはずのシンナーが抜けてなくなってしまうということは、その分色は痩せてしまうということに注意して下さい。



第7章 知ってもソンしないコラム

AIRBRUSH SCHOOL...

今回の知ってもソンしないコラムは、あちこちで開催されている AIRBRUSH SCHOOL の現状をお話したいと思います。

まず、日本全国でどれくらいの数の教えているところがあるのか？ということを考えてみると・・・

全国に名が知れ渡っているようなところは10件以下、個人的な趣味程度で教えているところや、ネイルアートの世界で AIRBRUSH を教えているところも含めると100を超えるかどうか？といったところでしょうか。

教え方はどうなのか？と言うと、短期集中型もあれば、長期にわたって少しずつ進めていく長期間型など、教え方様々。

受講金額はどうか？というと数千円～数百万円までこれも様々です。

1時間数千円というところもあれば1日10万円以上を受講代としてとるところもあります。

マンツーマンで親身になって教えるところもあれば、大勢の生徒をまとめて教えるというところもあります。

受講料等もそんなところで変化してくるのではないのでしょうか？

各 SCHOOL それぞれに特徴があると思うので、もし受講したいなら、自分に合ったところを探さなければいけません。

その AIRBRUSH SCHOOL の特徴を把握しないまま、受講したとすれば、当たり外れが出てくると予想します。

自分なりにいろいろと調べてみて、納得できるところで受講するべきだと思います。

うちでも AIRBRUSH を教えることをやっていますが、教えることに自信があるからやっているのであって、自信がなければやってはいないでしょう。(AIRBRUSH を教えさせたら日本一と自負しております！笑)

ただ、私は AIRBRUSH のことをわかりやすく教えることに自信があるわけであって、絵に関してはこれから勉強していく身。

もしうちで受講をされたいと思われたなら、竹島は絵が上手だから受講したいと思わず、AIRBRUSH を教えることが上手そうだからと思って受講してくれるとありがたいです。

しかし、自分なりに得た、絵を上手く描くため見せ

るためのコツみたいなものはお教え致します！

私は人に教えることによって自分も磨けると思っ

て人に教え始めました。

人に教えるということは、上に立って教えるという

ことであって、そのためには自分自身が勉強しなく

てはいけないという状態に自ら追いやったわけな

のです。

それだけ AIRBRUSH の世界にドブプリ漬かって

しまった、はまってしまった、ということです。

たいしたコラムにはなりませんでしたが、このへん

で！

TOTAL-T 竹島 敏也



弟子の独り言・・・

どもっ。

もう4回目ですね。もうきっとしばらく続くでしょう。

今回は、僕なりの＜絵＞に対する考えってのを書かせてもらいます。

これは、AIRBRUSHをやり初めて5ヶ月目の僕の考えであってこの先ぜんぜん違う考えになるかもわかりません。弟子の独り言はどちらかというと読者の皆さんのために書くというより、自分のために書いています。ですがもちろん読んでくれている人にもなにかヒントを与えられればと・・・

僕が成長していき、それなりに絵が描けるようになった頃、再びこの独り言を読み、初心に帰り、こんな考え方もしてたんだな～と思えるように確実に足跡を残して生きたいと思っています。

今回のテーマは固定観念と想像っていたとこですかね。

まず、いきなりですが

50℃の温度？

と聞かれて皆さんはなんと思いますか？

熱い。ぬるいとか思った人が多いと思います。決して冷たいと答えた人はいないんじゃないかと思います。

しかし、両方とも間違いでもなければ正解でもないのです。

50℃の温度というのは50℃の温度でしかないのです。

熱い、なり冷たいなりはひとが感じ取るもの、50℃というものは想像した何かによって変わってきます。

お風呂のお湯や大気の気温などを想像した人は、熱いと思ったはずです。

しかし、カップラーメンのお湯などを想像した人は、ぬるいと思ったはずです。

想像することは素晴らしいとおもいます。しかしそれを答えにしてしまうのはどうでしょう。

それこそ固定観念ではないのでしょうか？

ですが、決して想像することを悪いとは思っていません。ややこしくなりますが模写画を描くときには多少、邪魔だと思います。模写画で一番大事なのは 似る ということです。

つまり、絶対に目はこうなっているんだとか口ってのは、こういう形をしているんだ！！って考えはやっぱり邪魔です。とくに似せるという行為には。

顔のパーツや肌の色、高さや低さ、ひかり方や影のはいりかたなどを元絵と完璧に同じに描ければ似ないわけが無いと僕は思います。てか、そのものになるはず。

一度、人の目というのはこうなっているんだ！っていう考えは捨て、この人（元絵）の目はこうなっているんだから同じ位置に同じ目を書こうと思って描いてみては？

でも、結局そしたら写真と変わらないんですよ・・・（完璧に写真ほどこまかく描けませんが）

そこがまた、ややこしい！！（汗）

そしたら、写真でいいんじゃないか？と思われる方もいらっしゃると思います。自分で文を読み直してもそう思いましたから（笑）でもなんなんかにAIRBRUSHで描くといいんですよ、なんか味があって・・・写真ほどこまかくかけないからですかね・・・勉強不足。

（余談ですが、写真のようにリアルに書かなくてもその元絵のポイントポイントをキッチリつかめば荒い絵でも似ますよ。）

模写画では固定観念が邪魔とかきました。

しかし、＜絵＞としてはどうでしょう？オリジナルの絵としては・・・

そこは、自分だけのキャンパス、何も縛られることなく、自由に絵を描いてください。

絵の大きさもバックの色も、何の塗料を使うのも自由です。描き方など無いのですよ。

思いっきり想像しちゃって下さい。固定観念も大いに結構！そして、自分の色、特性、タッチを見つけてみては？

そう、何よりも楽しむ事

これ一番大事！！

海前 英俊

この本と共に勉強していきたい方のための道具選び

これから AIRBRUSH を始めようとする購読者のみなさんへ
私がお勧めする道具等を紹介していきます。
私が経験をもとに厳選したもののなので、
安心してご使用できることと思います。
ほしいものがあればご購入ください！
その道具を使いながら、私と一緒に勉強していきましょう！
購入しなくても、いっこうにかまいません。
参考にするだけでもいいと思います。
道具は財布と相談しながら、少しずつ揃えていけばいいと思います。
この本と共に勉強していくために、
必要なものを少しずつ紹介していきます。
よけいなものは紹介しませんので、ご安心ください。



TOOL はどんどん増えてきます！

前回よりホームページの TOOL コーナーをリニューアル致しましたが、今後も随時、新しい道具や塗料、備品等を追加していく予定ですので、たまにチェックしたらいいと思います。

私の場合、借り物の 0.3 のハンドピースから始まり、今では整理しないとヤバイくらいにガンや塗料、その他の道具で工場がだんだん狭くなってきております（笑）。

道具は仕事や作業を進めるために必ず必要になってくるものです。

必要最低限から始まり、効率よく作業するためにどんどん数も増えてまいります。

私は道具が大好きで、ホームセンターに行くとすごく長くなってしまいます。

それくらいに道具フェチ！？ の私は、いろんな道具等を自分で試しつつ、自信のあるものだけを、皆さんへ紹介していきますので、このコーナーをうまくご活用下さいませ！

購入を希望される方は・・・

※付属のビデオ CD から購読者専用ページに入れるようになっています。

購読者専用ページ→TOOL コーナーよりお申し込み下さい。

道具に関してのご質問やご要望などありましたら、遠慮なくお申し付けください！

ビデオ CD とオマケについて・・・

ビデオ CD を見ていただきたい！

Vol.04 のビデオ CD も2時間をオーバーしてしまいました。

このビデオ CD を見て、勉強して下さい！楽しんでください！笑って下さい！

このビデオ CD はこの本の必需品！見ないことには始まりません。

オマケで遊んでいただきたい！

今回のオマケはマスキング用にイルカのカットを施したものです。

今回ビデオ CD の中で使用見本みたいな感じでやっていますので、それを参考にして遊んでみて下さい。

こんなふう遊ぶ、楽しみながら勉強する！という気持ちが大切だと思います。

是非、このオマケを使って作品作りをしてみてください。

CD の見方は・・・

CD をパソコンに入れると、自動的にインターネットエクスプローラが立ち上がるはずですが。

あとはメニューの中身を見るだけです。

うまく見られない場合は CD の中身をエクスプローラ等で表示させ、
一つ一つのデータをクリックしてみてください。

見られないといった連絡も現在数件ありましたが、CD が不良ではなく、ほとんどの場合がパソコンの不具合や CD プレーヤーの不具合、
またはインターネットエクスプローラやメディアプレーヤーがインストールされてない場合です。うまくいかない場合は、パソコンのことを知っている近くの方に相談してみてください。

万一、CD が不良の場合は CD を再度お送り致しますので、ご連絡下さい。

私はパソコンを使えますが、深いところまでよく知らないなので、最近は甥っ子の中学生によくお世話になっている状態です。

マッキントッシュのパソコンでは見られないかもしれませんのでその点はご了承下さい。



編集後記

“TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.04 “ いかがでしたか？

AIRBRUSH は魔法の筆！私にしても皆さんにとっても夢が秘められている、夢が託されている魔法の筆ということでした。

私は、夢は必ず叶うものと信じていますので、皆さんと一緒に夢を叶えていきましょう！

夢を叶えるために日々の努力や研究を惜しんではいけませんが、無理しなくてもいいです！がむしゃらにやれ！とは言いません。

マイペースでいっぶくしながらやることも大切だと私は思っております。

私もいっぶくしながらがんばりますので、皆さんもいっぶくしながらがんばっていきましょう！

次回 HOW TO AIRBRUSH VOL.05 は・・・

今まででもそうでしたが、今後は更に皆さんからの意見や質問等を重視して進めていきたいと思っております。

メールや掲示板でご意見やご要望、ご質問等をお待ちしています。

それと、次回から 3 回くらいに分けて作品作りの実践を公開していきたいと思っておりますので、楽しみにして下さい。

また、今回はハンドピースを購入して下さった方に付けている CD の画像の一部も付けさせて頂きましたが、次回も別バージョンを付ける予定ですので参考にしていって下さい。

この本は、AIRBRUSH を TOTAL-T と一緒に学ぶ本、考える本、楽しむ本として、毎月月末に発行する手作りの本です。

今月（3 月末現在）で先の予約数も含めると合計 1 2 0 0 部を超えました。

儲かっているかという点、経費や労力がかかりすぎて、あまり儲かっていないのが現状ですが、まったくないわけではなく、飯は食っていけそうなので、1 2 月までがんばっていけそうです（笑）。

これも皆さんのおかげ！深く感謝いたしている次第です。

今回のページ数はいつもより少なめですが、内容的にはいつも通り！むしろキーポイントとなる部分が多いような気がします。

ページ数よりも全体で内容が良いか悪いか？二千円の価値があるかどうか？ということの評価して下さい。

これからも、皆さんの期待にそえられるように努力していきますので今後とも宜しくお願い致します。

本の予約について・・・

[当ホームページ](#)→[BOOK](#)→[購読申込フォーム](#) よりご予約ください。

自分の予約状況を知りたい場合や予約を解除したい場合はメール等でお問い合わせください。

尚、携帯電話からでも当ホームページ <http://total-t.com>

にアクセスしていただければ購読予約ができるようになっていますのでご利用ください。

不具合等を発見いたしましたら遠慮なくお伝え下さい。

★AIRBRUSH PAINT & TOTAL-TECH★

TOTAL-T

〒920-2104 石川県石川郡鶴来町月橋町 416-1

TEL 0761-93-9002 FAX 0761-93-5551

URL <http://total-t.com> Mail toshi@total-t.com

最後まで読んでいただきありがとうございました。